

昨下棟仙 あきつひ 僧侶。文政八年七月十五日信濃國下高井郡夜間瀬村
生れ、明治二十四年十一月二十七日歿（八五—九〇）。善好清水、字
大岡、通稱要藏。號隨時道人。天保二年得度、駒込の古石庵寺學寮に入
る。明治七年松林の景泰寺擔任第一世、十三年大本山總持寺貫主。一
十二年 天皇下の法雲寺普蓋禪師の稱を賜はる。

瀧谷塚宗共論 共論 譯曹洞教會修證義 陸 陸鎮巖補譯、大正五年十月十日

愛知・圓通寺誌（可傳堂）刊。